

<b>教養ゼミ (税理士養成クラス)</b>		<b>演習</b>	<b>准教授 岩下 尚義</b>	
<b>科目カテゴリー</b>	<b>国際ビジネス学科の必修科目</b>	<b>科目ナンバリング</b>	<b>21300201</b>	

### 1. ゼミのねらい・概要

税理士養成クラスは、将来、税理士として活躍するために必要とされる高度な会計及び税法の知能・技能を身につけ、税理士資格の取得を目指している。教養ゼミでは、税理士試験（8月）までの各回は税理士試験対策講座を実施する。受験科目は主に会計科目を扱う。

税理士試験受験後の各回は、①教養ゼミとして教養を高める講義と②税理士養成クラスとして「税理士」を知る講座及び大学での学修の要諦である専門ゼミ、卒業研究への橋渡しを目的とした講義を実施する。税理士試験前後において実施内容が異なるが、2年次対象の通年科目である。

### 2. ゼミ計画

概ね以下のような流れのもとに実施する。

1. 春休み期間の学修状況の報告、今後の計画について	9. 教養とは何か？（書籍の輪読）
2. 税理士試験対策講座①（基本問題対策）	10. クリティカルシンキングとロジカルシンキング
3. 税理士試験対策講座②（基本問題対策）	11. 専門家を目指す上での教養（ディスカッション）
4. 税理士試験対策講座③（応用問題対策）	12. 税理士を知る①（映像鑑賞：前半）
5. 税理士試験対策講座④（応用問題対策）	13. 税理士を知る②（映像鑑賞：後半）
6. 税理士試験対策講座⑤（過去問分析）	14. 専門ゼミ（税法ゼミ）に向けての予備知識
7. 税理士試験対策講座⑥（模擬試験）	15. 本年度の振り返りと次年度のプランニング
8. 税理士試験受験後の振り返り	

### 3. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業の準備は「ゼミのための学修ではなく、税理士試験に合格するための学修である」と意識すること。復習で重要なことは時間だけでなく、「毎日」行う習慣を身につけることである。準備学修には3時間以上が必要である。

### 4. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業時間中に課題を実施する。課題提出の都度、解説を行う。

### 5. ゼミにおける学修の到達目標

8月に実施される税理士試験での合格を目指す。また、教養ゼミとして所属ゼミ担当教員・ゼミ生との良好な人間関係を構築することを目標とする。

### 6. 成績評価の方法・基準

原則として、平常点80%（出席状況や授業への取組み姿勢）、レポート20%で成績評価を行う。

### 7. テキスト・参考文献

フレッシューズゼミ（税理士養成クラス）で用いた教材・レジュメの他、授業時間中に配布する。

### 8. 受講上の留意事項

本科目は、前後期30回の同一時限開講コマの半分（残り半分はトップマネジメント講話）の15回分のコマより成り立っている。各時限のうち、いつの時間が本科目となり、いつの時間がトップマネジメント講話になるかは、講話をお願いする講師の都合に負うところが大きいので、掲示板等で当該回が講話かゼミかをよく確認してほしい。

全体ゼミの場合には、授業開始5分前までに指定の教室（全体ゼミ会場）に集合し、各自に指定された座席に着座して

授業開始を待つこと。一方、ゼミ別指導の回については、各ゼミに指定された教室に集合し、指導担当教員の指示に従うこと。

**9. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無**

該当する。本授業は、税理士としての実務経験を活かして指導する。

**10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。